

訪日客最多495万人

上半期 円安でアジア好調

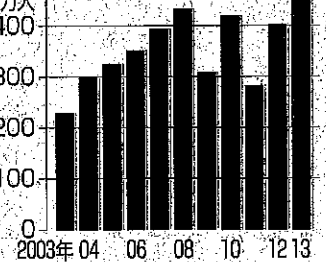
政府観光局は24日、今年の上半期（1～6月）に日本を訪れた外国人旅行者数の推計は、前年より22・8％増の495万5千人で過去最多だったと発表した。円安が進んだことによる割安感や、格安航空会社（LCC）の普及などが背景にある。政府観光局は「東日本大震災の影響で減っていた観光客が戻ってきた。今後このペースなら、政府の年間目標の1千万人に手が届く」と期待している。

これまでの上半期のし、うち5カ国は東南最多は2008年の4アジアだった。経済成長により海外旅行者が長により海外旅行者が国・地域別で見ると、増えているためで、最も多い韓国が132万人（38・4％増）、台湾が103万人（49・4％増）。10の国・地域が過去最多を記録

沖縄県・尖閣諸島をめぐるとどまった。主力のめぐる関係悪化の影響が残り中国は国・地域別で3位だったが、27・0％減の53万6千人

主な国と地域	2013年上半期	前年上半期
	6月(万人)	(%)
韓国	132.0	38.4
台湾	103.0	49.4
中国	53.6	-27.0
米国	39.7	9.9
香港	33.6	43.1

※各年上半期



訪日客数の多い主な国と地域

訪日外国人旅行者数の推移(政府観光局調べ) 客に対する査証(ビザ)を免除するなど誘致に力を入れている。旅行大手JTBの担当者は

「四季ごとの楽しみ方を増やすなど誘致に力を入れている。旅行大手JTBの担当者は「う」とめている。